

ドライブ

イン

蒲生 GAMO



脚本◆大石三知子／プロデューサー◆石井稔久／企画・プロデュース・監督補◆越川道夫／音楽プロデューサー◆平田和彦
撮影補◆丹田義久／照明◆山本浩貴／美術◆平井洋郎／音響◆菊池信之／衣装◆宮本まさ江／アメイク◆橋本申二
編集◆菊井貴繁／助監督◆葛地健雄／制作担当◆中村哲也／A P◆神林理央子／企画協力◆河出書房新社
製作◆キングレコード株式会社／制作◆スローラーヴ／配給◆コピアボア・フィルム（2014年／89分／ピクタ／カラー）

カスケた家に生まれた姉弟のちいさな戦いの物語。

オレたちは、バカじゃない。

たむらまさき × 染谷将太 × 黒川芽以 × 永瀬正敏

原作◎伊藤たかみ × 音楽◎ヤマジカズヒデ

年齢差 50 歳以上！本物の才能が奏でる極上のシンフォニー



「蒲生はバカの家」そんな一家に生きる姉弟が、世間に挑戦すべく立ち上がる

街道沿いのさびれたドライブインに生まれ育った姉サキ（黒川芽以）と弟トシ（染谷将太）。ろくでなしの父（永瀬正敏）のせいで、物心ついた時から「バカの家の子ども」と蔑まれたふたりの人生にはろくなことがない。周囲への反発からヤンキーになったサキは、あげくの果てに妊娠して家を飛び出してしまう。それから数年後、夫にDVを受けたサキが出戻ってきた。ヨリを戻すのか別れるのか？ 決断すべく、幼い娘・亜希子とトシを引き連れ夫の元へと向かうサキ。道中、サキとトシに来来するには意外にも、あの父のことだった…。ふたりは父から受け継いでいたなにかを胸に抱き、いま決戦の場におもむく。

芥川賞作家・伊藤たかみの最高傑作の映画化！

原作は「助手席にて、グルグル・ダンスを踊って」で鮮烈なデビューを果たし、小学館児童出版文化賞受賞作品「ミカ」、29歳男性の結婚観を描いた「指輪をはめたい」、そして芥川賞受賞作品「八月の路上に捨てる」など幅広い年齢層から支持を得る伊藤たかみの「ドライブイン蒲生」。時代の境目で不器用にあがく父親と姉弟の関係を、「ドライブイン」というユニークな舞台を用いて描き、作家の「最高傑作」としても名高い作品だ。

新世代の若き才能が集結。

染谷将太と黒川芽以が新たな役にチャレンジ！

出演は弱冠 21 歳にして映画出演総数 40 本以上『WOOD JOB! (ウッジョブ)』(矢口史靖)、『寄生獣』(山崎貴) でも主演を務める注目の若手実力派俳優・染谷将太。圧倒的なオーラを感じさせる存在感で、父と姉の葛藤の板挟みとなる純朴な弟トシを好演。姉役には『ぼ

くたちの家族』(石井裕也、主演作『南風』(萩生田宏治)も公開される黒川芽以。自身念願であった初のヤンキー役に抜擢され、やさぐれるほどに「オンナ」としての魅力を増し、弟から見ても色気を感じさせる女性像に体当たりでチャレンジしている。父親役には永瀬正敏。デビュー作『ショーンベン・ライダー』(相米慎二)でたむらのカメラの前に立てたことを誇りに感じる永瀬が、芸能生活 30 周年作品として出演。そして、音楽は豊田利晃作品の楽曲を担当しているヤマジカズヒデ。サイケなギターサウンドが蒲生姉弟の気持ちの流れを随所で表現している。

日本映画界・伝説のキャメラマンたむらまさき 75 歳の初監督作！

監督は本作が 75 歳にして初監督となるたむらまさき。「キャメラマン・田村正毅」として知られ、小川紳介監督『三里塚』シリーズをはじめ、2003 年からは「たむらまさき」名義で、一貫して日本のインディペンデント映画の屋台骨を支えてきた伝説の撮影監督である。

【巨匠から若手まで名作の陰にこの人あり！ たむらまさき 主な撮影フィルムography】

『日本解放線 三里塚』(小川紳介)、『日本妖怪伝 サトリ』(東陽一)、『修羅雪姫』(藤田敏八)、『さらば愛しき大地』(柳町光男)、『ショーンベンライダー』(相米慎二)、『逆襲射家族』(石井聰亘)、『タンポポ』(伊丹十三)、『2 / デュオ』(濱田敦彦)、『萌の朱雀』(河瀬直美)、『修羅の極道 蛇の道』(黒沢清)、『EUREKA』(青山真治)、『SELF AND OTHERS』(佐藤真理)、『美しい夏キリシマ』(黒木和雄)、『ケケケの女房』(鈴木卓郎)ほか



7月より全国順次公開 !!

特別鑑賞券 1,500 円（税込）絶賛発売中！（当日一般 1,800 円のところ）

◆オリジナルポストカード 2 枚セット付き！



【スター】
イメージフォーラム

自由席・整理券制・定員入替制

TEL:03-5766-0114

渋谷駅より徒歩 8 分宮益坂上り、次の信号スター・バックスコーヒー右手入る



www.imageforum.co.jp